

## JA伊勢 例年並みの出荷見込む

## キャベツ圃場巡回

【伊勢】JA伊勢は16日、JA管内のキャベツ圃場（ほじょう）を巡回した。作付けや生育状況などを確認し、適切な営農指導につなげるのが目的。JAと県の伊勢志摩地域農業改良普及センターの職員らが伊勢市と玉城町の生産者の圃場を巡回し、作付けや苗の活着具合、生育状況などを確認した。



生育状況を確認するJA職員⑥と伊勢志摩地域農業改良普及センターの職員

JAの担当職員は「夏の暑さによる干ばつや台風の影響が心配されたが、順調に生育しており、例年並みの出荷が見込める」と話す。

JAでは、今後も定期的に圃場を巡回して、葉の状態や大きさ、病害虫の被害の有無などを確認する。

JA管内では、キャベツ部会の部会員26人が業務や加工用のものを中心に、11月から3月ごろ

まで切れ目なく出荷できるよう、品種特性を生かした栽培に取り組んでいる。